

## 日記指導

ある研修会の講座で講師を務めました。  
そのとき、私は次のような演習をしました。

次の児童の日記を読んで、5種類のコメントをしてください。  
(実際は、5年生の児童の日記をそのままコピーして配布した。  
字は非常に雑。)

9 / 10 剣道  
今日は剣道。  
がんばるぞー-----。  
きょうは新しい先生。  
あたまかいたい-----

できた先生から黒板にコメントを書いてもらいました。  
大別すると次の4パターンになりました。

共感型(「頭が痛くてたいへんだったね。」)  
質問型(「新しい剣道の先生は優しいかい?」)  
叱責型(「字が汚いです。きれいに書きましょう。」)  
賞讃型(「『剣道』と漢字で書いていてエライ。」)

上のようにまとめたあと、私は必要だと思うものに挙手してもらいました。  
すると参加された先生方は、どれにもまんべんなく9割程度ずつ手をあげられました。  
私は、「コメントとして相応しいのは『賞讃型』だけです」と言いました。  
そして、次のような話をしました。

共感型 ~ 「先生、何を分かり切ったことを書いているんだ!？」と子どもは思う  
質問型 ~ 子どもにとって煩わしいだけ。実際こういう質問を書いて、答が書かれてくるのは1割程度。  
叱責型 ~ 子どもなりに事情がある。その中で、懸命に書いてきているのに、叱るとは何事か。子どもは読まない。

私が示した解答例は次のようなものでした。  
「日付をきちんと書いている。エライ!」「『剣道』という字をしっかりと漢字で書いている。スゴイ!」「『。』を忘れず付けている」「4行も書いている。素晴らしい!」「『がんばるぞー』と自分の気持ちを書いているところがいい。」  
もちろん、すべて賞讃型です。